

高等部教育目標				
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う				
探究型カリキュラム教育/学習目標				
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける				
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning				
1. 自分事として ＜オーナーシップ/一人称＞	2. 社会/実践を通して ＜PBL 型/アクション＞	3. 知識を大事に ＜自ら得る知識/高める関心＞	4. ミニケーションを通して ＜自分/他者のやりとり＞	5. 生徒・教員が共に ＜共に探究する関係性＞
上位学習目標				
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートの理解に必要な歴史的背景やモチーフ・技法・展示方法などを適切に用いることができる ・社会課題や哲学的言説について理解し、アートと関連させて説明することができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートを見て感じ取ること（＝感性）を通して社会課題を多角的にクリティカルに捉え、自分の考えを構築することができる ・物事に一つの解答を求めるのではなく、複雑なまま受け入れて熟考することができる ・自分自身の価値観やモノの見方を俯瞰し、他との関係性のなかで相対的に意味づけることができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を通して自由に世の中を捉えることで、自分の未来の可能性を開いていくことができる ・他者の表現や言説を自分の価値観に照らして、主体的に想像することができる ・作家が内省を突き詰めて作品と対峙することを追体験することで、内在する自己の有りように向き合う姿勢を身につける 				
下位学習目標				
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アート思考と論理思考の違いを理解し、用語として使い分けることができる。 ②対話型鑑賞や作品分析に必要な情報を集め、目的に応じて選択することができる。 ③アートにまつわる哲学的言説や時事、歴史的事実などについて自分の言葉で語ることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アートとそうでないものとの違いについて鑑賞者と作品との相対性やコンテキストによる関係性を意識して考察することができる。 ②一つのアート作品についての情報を総合し、自分なりの分析を施すことができる。 ③アートプロジェクトや文化政策、パブリックアート等を通してアートに関わる社会課題について推察し見通すことができる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①より多くのアート作品や文献に触れようとするすることができる。 ②一つの作品やプロジェクトに関する学びに対して時間をかけることができる。 ③自らの考えを昇華させるために、他者とアートについて語り、互いの価値観を認める姿勢を身につける。 				

授業日	4/16(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①【学びに向かう力・人間性】①③		
	本時の具体的な目標 ・探求するとはどういうことか考える ・アート思考とはどういうことか考える		
時間	5 限	全体オリエンテーションで探求ということの理解を深める	
授業内容	6 限	今アート思考が社会でなぜ注目されているのか、アート思考とは何かを考える	
評価方法	アート思考の授業では何を目標にしているのかを理解できているか、また、ガイダンスの内容をどこまで具体的に把握することができているか、イメージしていたことからどのように自分の意識が変容したのかを「学びの記録」によって評価する。		
宿題指示	A4 ノートの準備		

授業日	4/23(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】①②③		
	本時の具体的な目標		
	・アート思考とビジネス		
	・発想力について ・作品鑑賞について		
時間 授業内容	5 限	アート思考が社会でどのような形で表れているか…	
		アラン・ケイとスティーブ・ジョブスの歩みをたどる	
	6 限	作品鑑賞について導入 個人鑑賞とグループワーク	
		パブリックアートについて導入	
評価方法	アート思考を理解しようとしているか、自分自身の内省とグループワークでの交流を通して考えたこと、気づいたことからどのように自分の意識が変容したのかを「学びの記録」によって評価する。		
宿題指示	パブリックアートを見つけ鑑賞し、鑑賞ノートを作成		

授業日	5/7(火)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】②③ 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】①		
	本時の具体的な目標		
	・日常生活の中の当たり前と当たり前でないものを考察する ・発想力、思考の柔軟性		
時間	5 限	ゲスト講師、岩淵拓郎氏により、「なんだこれ？」について思考を深めるレクチャー	
授業内容	6 限	歴史の中で話題となった様々な「なんだこれ？」映像を見ながら、思考を深める	
評価方法	レクチャーを通して考えたこと、気づいたことからどのように自分の意識が変容したのかを「学びの記録」によって評価する。		
宿題指示	自分なりに「なんだこれ？」の映像を各自作成して次回発表する		

授業日	5/14(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時	主なターゲット【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		

学習目標	本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中の当たり前と当たり前でないものを考察する ・発想力、思考の柔軟性 ・課題発表を通しての自己発言 	
時間 授業内容	5 限 6 限	ゲスト講師、岩淵拓郎氏により、「なんだこれ？」について先週出された課題を発表 グループワークで各自が作成した「なんだこれ？」映像を見ながら、思考を深めコミュニケーションする。
評価方法	1, 提出された各自作成の映像や、そこから気づいたことからどのように自分の意識が変容したのかを「学びの記録」に記し評価する。 2, 連休中の宿題であった、パブリックアートのレポートによる評価。	
宿題指示		

授業日	5/28(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		
	本時の具体的な目標		
	・ 本日警報のため休校 ・		
時間 授業内容			
評価方法			
宿題指示			

授業日	6/4(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③ ----- 本時の具体的な目標 ・兵庫県立美術館にて全員で対話型鑑賞を行い、その後個人で作品鑑賞を行う。		
時間 授業内容		兵庫県立美術館にて全員でジョージシーガルの立体作品を鑑賞する。学芸員の方による対話型鑑賞を経験する。 常設展を鑑賞し、自分が気になる 1 点を見つける。次回以降の授業でその作品に関して発表できるように、観ることを深める。	
評価方法	対話型鑑賞において観ることをどれだけ深めていけたか、また個人鑑賞においてどのような観点で作品と出会い、内省する時間を過ごしたかななどを「学習の記録」で評価する。		
宿題指示	次回の授業で、自分の出会った作品について発表できるようにアートノートにまとめる。		

授業日	6/11(火)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		

学習目標	本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックアートについての理解を深める ・県立美術館で鑑賞した作品についてグループワークで見方を広げる 	
時間 授業内容	5 限	パブリックアートについて事例を見ながら、美術史としてのパブリックアートの登場とその問題について学び、次に日本のパブリックアート政策についてその変遷を紹介。
	6 限	4人グループに分かれ、一人づつグループ内で自分が選んだ作品について発表し、質問のやり取りで自分の見方に他者の感じ方を合わせ、見方を深める。残った時間で来週の全体発表の準備を行う。
評価方法	学びの記録による評価	
宿題指示	6/18 の作品についてのプレゼンテーションの資料作成と提出	

授業日	6/18(火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		
	本時の具体的な目標 ・作品と自分とのかかわりを深めることで、発見できるものに気づく大切さを学ぶ。 ・プレゼンテーションを行うということで、人に伝えることへの工夫を学ぶ。		
時間 授業内容	5・6 限	県立美術館鑑賞で自分の気になる作品を 1 点選び、その作品について先週のグループワークの内容と自分が調べた内容を加味して、3 分で全体に発表を行う。	
評価方法	学びの記録による評価だが、発表に対しての他己評価を取り入れる。		
宿題指示			

授業日	6/25(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		
	本時の具体的な目標 ・ 1 9 6 0 年代日本の野外彫刻から「パブリックアート」への考え方の変化、さらに現在の「アートプロジェクト」に至る変遷を、いくつかの事例を通して考察する。		
時間 授業内容	5・6 限	ファーレ立川、直島、そして身近な神戸市を例に、街づくり、都市計画をどう考えていくかということを具体的な事例を紹介しながら講義形式で伝えていく。	
評価方法	学びの記録による評価		
宿題指示			

授業日	9/10(火)	2 学期授業回数	1 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③ 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み宿題 アートに関する推薦図書を 1 冊以上読み、その本に関してブックトークプレゼンテーションを一人づつ行う ・夏休み宿題のアートエッセイに関しての指示 		
時間 授業内容	5・6 限	<ul style="list-style-type: none"> ・アートに関する本に関してブックトークプレゼンテーションを一人づつ行う。 ・アートエッセイの英訳に関して説明 	

評価方法	他者のプレゼンテーションへの評価を行い
宿題指示	アートエッセイの英訳

授業日	9/17(火)	2 学期授業回数	2 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		
	本時の具体的な目標 ・ 近代以降の美術史の流れを学ぶ。 ・ その中でも特にシュールレアリスムについて詳しく理解を深める。		
時間 授業内容	5・6 限	アートノートに貼れる近代以降の美術史のポイントを整理した資料を配布し、その内容について講義をする。今回と次回の授業について、資料プリントをアートノートに張り付け、授業内容や調べたこと、理解したことなどを丁寧にまとめたうえでアートノートを提出することを課題とする。	
評価方法	2 週間後にアートノートを提出、それを評価する		
宿題指示	アートノートのまとめ、考察		

授業日	9/24(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③ ----- 本時の具体的な目標 ・ 近代以降の美術史の流れを学ぶ。 ・ その中でも特にコンセプチュアルアートについて詳しく理解を深める。		
時間 授業内容	5・6 限	アートノートに貼れる戦後美術史のポイントを整理した資料を配布し、その内容について講義をする。授業について、資料プリントをアートノートに張り付け、授業内容や調べたこと、理解したことなどを丁寧にまとめたうえでアートノートを提出することを課題とする。	
評価方法	1 週間後にアートノートを提出、それを評価する		
宿題指示	アートノートのまとめ、考察		

授業日	10/1(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 10 回
本時	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		
学習目標	本時の具体的な目標		
	・ 10/8 六甲アイランドでのフィールドスタディのための班分けを行い、班行動を考える。 ・ 最終的な班での発表に向けて、テーマをどこに置かなどを判で話し合い、準備御行う。		
時間	5 限	パブリックアート、野外彫刻についての復習と行政とのかかわりについて示唆を与える。	
授業内容	6 限	班ごとにパブリックアートについてどのような切り口で発表するかを考え、それに基づき当日の行動スケジュールをイメージしてみる。	
評価方法	学びの記録による評価		
宿題指示	アートノートのまとめ、考察		

授業日	10/8(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 10 回
-----	---------	----------	---------------

本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③	
	本時の具体的な目標 ・小磯記念美術館の学芸員の方のレクチャー ・六甲アイランドの街づくりとパブリックアートについて考える	
時間 授業内容	14:30 より 現地にて	小磯記念美術館を訪問 廣田学芸員と峯松学芸員のお話し 六甲アイランドの歴史や神戸市のアート行政、そして現在の取り組みなどをレクチャーしていただき、その後班ごとに分かれて、六甲アイランドの野外彫刻を散策しながら、住民の方にインタビューなどもしていき、自分の目でしっかりと作品や状況を観察して、班ごとのパブリックアートについての発表の資料となるものを集めていく。
評価方法	学びの記録による評価	
宿題指示	アートノートのまとめ、考察	

授業日	10/22(火)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③ ----- 本時の具体的な目標 ・フィールドスタディを通して得た知見をグループでまとめ、10/29 のグループ発表の準備を行う。		
時間 授業内容	5 限 6 限	小磯記念美術館の学芸員の方のレクチャーと六甲アイランドのパブリックアート散策を通して得た知見と各自が感じ取ったことなどをグループでまとめ、10/29 のグループ発表のためのパワーポイント作成を進める。	
評価方法	本日グループごとにまとめた資料を提出		
宿題指示	次週の発表に向けてパワーポイントを完成させる		

授業日	10/29(火)	2 学期授業回数	7 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③ ----- 本時の具体的な目標 ・ 10/8 の六甲アイランド、フィールドスタディを通して得た知見をグループでまとめ、グループ発表を行う。 ・ アートカードを用いて思考をほぐす。		
時間 授業内容	5 限	グループごとに六甲アイランドのパブリックアートや取材を通して得た知見を基に自由にテーマを設定してプレゼンテーション発表を行う。	
	6 限	アートカードを用いて、思考をほぐすゲームを行う	
評価方法	プレゼンテーションの評価及び学びの記録による評価		
宿題指示			

授業日	11/12(火)	2 学期授業回数	8 回目 / 全 10 回
本時	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		

学習目標	本時の具体的な目標 ・ 高等部が所蔵する、具体美術の松谷武判の作品鑑賞を行う	
時間 授業内容	5 限	松谷武判の作品を鑑賞していく。鑑賞シートに従いながら、まずは自分視点を大切に、先入観なく作品と向き合い、自分が感じたことを言葉にしていく。
	6 限	他者が同じものを見て自分とは違う観点で鑑賞していることを知り、自分の感じ方だけではなく、他者視点の感じ方も取り組み作品に対してイメージを深めていく。 松谷武判について知識を深め、改めて作品を捉えなおす。
評価方法	学びの記録による評価	
宿題指示	次回と次々回の授業で一人づつ作家についてプレゼンテーション発表を行う。その準備を進める指示。	

授業日	11/19(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		
	本時の具体的な目標		
	・教科書に掲載のアーティストについて調べて発表する。作者についてと、作品についてを教科書の情報からさらに掘り下げて紹介する。		
	・「具体美術協会」についての導入		
時間	5 限	今週は半分の 7 名が自分の調べてきた作家について紹介する。	
授業内容	6 限	吉原治良と「具体美術協会」について、具体美術宣言を読み解きながら解説していく。	
評価方法	学びの記録による評価		
宿題指示	具体美術宣言と具体美術の作家について 3 学期最初に発表する課題について説明。		

授業日	11/26(火)	2 学期授業回数	10 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③ ----- 本時の具体的な目標 ・ ・教科書に掲載のアーティストについて調べて発表する。作者についてと、作品についてを教科書の情報からさらに掘り下げて紹介する。 ・ 「具体美術協会」についての導入・		
時間 授業内容	5 限 6 限	今週は残り半分の者が自分の調べてきた作家について紹介する。 残った時間で、各自「具体美術協会」について、調べてみる。	
評価方法	学びの記録による評価		
宿題指示	具体美術宣言と具体美術の作家について 3 学期最初に発表する課題について説明。		

授業日	1/14(火)	3 学期授業回数	1 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③ 本時の具体的な目標 ・ 「具体美術宣言」を読み、具体美術協会の作家を一人取り上げて、理論と表現を関連付けて調べ、発表する。 ・		
時間	5・6 限	一人づつ発表	

授業内容		
評価方法	自分以外の発表者のプレゼンテーションに対して全員がそれぞれ評価をつける。 他者のプレゼンテーションからの気づきなど学びの記録による評価	
宿題指示		

授業日	1/21(火)	3 学期授業回数	2 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③ ----- 本時の具体的な目標 ・ 20 世紀美術史の流れの中で、いくつかの現代アートのテーマを考える 戦争と平和について、オノヨーコやヨーゼフ・ボイス、ハンスハークの作品などを通して考察する。 ・		
時間 授業内容	5 限 6 限	2 0 世紀から 21 世紀にかけての現代アートのポイントを拾って解説する 特に戦争と平和についてのテーマについて、オノヨーコの表現について考える	
評価方法	アートノートによる授業記録及び考察を評価		
宿題指示	表現者としてのオノヨーコについて調べアートノートにまとめる		

授業日	1/28(火)	3 学期授業回数	3 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		
	本時の具体的な目標		
	・ 戦争の問題について～現代社会に通ずる問題として		
	・		
時間 授業内容	5 限 6 限	ベトナム戦争の枯葉剤の問題をドキュメンタリー映像作家の坂田雅子氏を通して考える。 今までの復習課題への取り組み：アンフォルメル、抽象表現主義、具体の共通点と違う点を考察してノートにまとめる。	
評価方法	アートノートのまとめ		
宿題指示	アンフォルメル、抽象表現主義、具体の共通点と違う点を考察してノートにまとめる		

授業日	2/4(火)	3 学期授業回数	4 回目 / 全 6 回
本時	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		
学習目標	本時の具体的な目標		
	・ ピアティーチング ・		
時間	5 限	他の授業の発表を聞く	
授業内容	6 限	アート思考の授業発表 1 「アート思考の授業紹介」	
		アート思考の授業発表 2 「パブリックアートを考える」	
評価方法	評価無し		
宿題指示			

授業日	2/14(金)	3 学期授業回数	5 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】①②③		
	本時の具体的な目標 ・ AI とアート というテーマから AI の問題点などを考察する ・		
時間 授業内容	5 限	AI の可能性を探る試みとして 2022 年にニューヨーク近代美術館（MoMA）で開催された “Unsupervised”の作品に対しての当時の評価を手掛かりに AI を考える。 また、ジェフリー・ヒントンのインタビュー記事を考察する。	
	6 限	ピアティーチングのアート思考の発表に対して出た質問について、各自で考えアートノートにまとめる。	
評価方法	アートノートのまとめを評価		
宿題指示	2/25 授業後にアートノート提出		

授業日	2/25(火)	3 学期授業回数	6 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		
	本時の具体的な目標 ・ 1 年間の振り返りとして「アートと私」というテーマで振り返る ・ 3 年生でのアート思考の取り組みについての理解		
時間	5 限	「アートと私」というテーマで作文を書く	
授業内容	6 限	3 年生のアート思考でどのようなことに取り組んでいくかを担当の上田先生よりレクチャー	
評価方法	アートノートのまとめを評価		
宿題指示			